

平成20年度八重山群島病害虫発生予報第2号(5月予報)

5月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	30	30	30
平年並	30	40	40
低い(少ない)	40	30	30

(平成20年4月25日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地点別の平均値

要素	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	25.5	28.1	23.5	221.4	159.2

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

5月の発生予報

向こう1か月間における農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

八重山群島

1 さとうきび

春植えや株出しにおけるメイチュウ類の防除対策

- 4月のカンシャシクイハマキ合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの誘殺数は、212頭(前年246頭、平年179頭)と平年並であった。
- 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点をおく。
- 培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選定し、施用する。

2 マンゴー

生理落果～果実肥大期の病害虫防除対策

- 4月下旬の調査の結果、炭疽病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類の被害が認められた。
- 病害対策として、施設内の通気をよくするとともに、薬剤による予防に努め、罹病した葉・花序等は除去し、施設外へ持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマの発生源となる不必要な新葉を除去し、ビニール袋に密閉して持ち出し処分する。
- チャノキイロアザミウマやハダニ類は水に弱いので、晴れた日に灌水を兼ねて動噴で洗い流すことも密度を下げるのに有効である。
- チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達しやすいことから、同系統薬剤の連用を避ける。